

日本伝統の彫刻技術を現代に受け継ぐ

株式会社らんまの大橋
代表取締役 渡辺 克之 氏

創業以来、日本の「美」を彫り続けてきたらんまの大橋。90余年にわたって受け継がれる伝統の技術で、各種欄間や寺社仏閣彫刻、地車、山車を手掛けています。四代目の渡辺克之社長は「時代の移り変わりとともにお客様のニーズも変化する」と話し、現代に求められる製品造りを追求しています。

創業6年、日本伝統の匠の技

大正3（1914）年、社員15人で創業、当初は一般家庭向けの欄間や座卓などを製造販売していました。日本伝統の鎌倉彫刻の流れを汲む後藤流を受け継ぐ彫刻師



▲▲ ショールームには各種欄間や彫刻像が並ぶ

染みのない木の香りが生活の香りでした。
私は平成14年に四代目を継承しました。現在では欄間はもちろん、寺社仏閣彫刻、山車彫刻の製造も行っています。寺社仏閣彫刻は、いつまでも多くの人の目に触れるものですから、製作の際には細心の注意を払います。当社の職人たちは、後世に残る「最高の一品」を目指し、腕を磨いています。

“日本の美”を彫る職人たち

当社では職人の多くは入社して初めて「仕事としての彫刻」に携わるわけですが、特に修行期間は設けていません。仕事に就いたら即

“和”から“洋”へ移りゆく日本

現在、受注の約7割が寺社仏閣向けです。一般家庭向け欄間などの受注は減少、特にこの10年間は激減しています。その要因は“和”から“洋”へと移りゆく日本の住宅事情にあると思います。伝統的な和室を持つ住宅が減少し、それに伴い欄間の受注も減少しました。そういった環境の変化に対応するため、当社も欄間製造から寺社仏閣の彫刻製造へとシフトしてきました。

お客様のニーズを形に

当社は、お客様がどのような商品をお求められているかを見極め、よりよいものを作ることを心掛けています。欄間を取り付けたときのお客様の笑顔や、寺社仏閣の落慶式で多くの方々が喜んでる姿を見たときはとても嬉しく思います。これからもお客様からいただいた仕事に誠意を持って対応し、お客



▲「日本古来の“美”の追求に終わりはありません」と話す渡辺社長

様から「らんまの大橋にお願いしてよかった」と言っていただけでも製品を提供できるような努力していきたいと思っています。



岐南展示場

住所 ● 羽島郡岐南町伏屋 6-120
電話 ● 058-247-3467

Company Data

株式会社らんまの大橋

本社 ● 岐阜市西玉宮町 1-23
電話 ● 058-266-1131
事業内容 ● 各種欄間、寺社仏閣彫刻の製造、販売
創業 ● 大正3年
HP ● <http://www.art-ohashi.co.jp/>